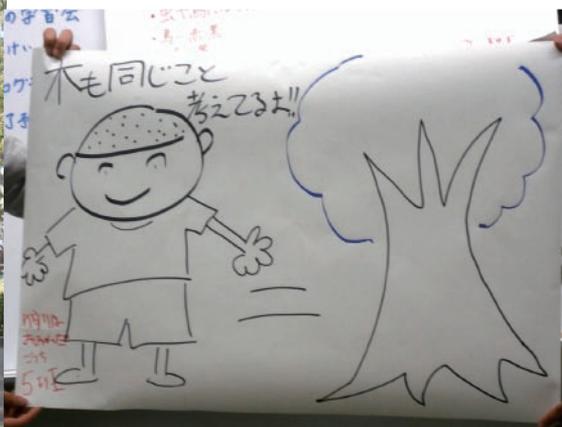




4月27日「不思議なフシギな木のひみつ」 観察会とワークショップ 主催



大発見!

「木は人間と同じことを考えている。傾けば支える方が太り、栄養が足りないと新しい枝や葉を出す。傷が付くと、そこに免疫力を付け栄養を送ってこぶになる。」「木はむだな枝は出さない。木の下は熟年世代で、上は精鋭部隊でバランスを取っている。」(樹木医・森林インストラクター 岩谷美苗氏《写真左端》)



4月27日(日)の午後、センスオブアース主催、樹木医岩谷美苗さんによる、観察指導と観察結果を生かしたワークショップが開かれました。参加者は、東京家政大学の宮地孝宜先生とゼミの学生8人を始め、他大学の学生、院生たち青年や地域の幅広い年齢層の方々です。この観察会・ワークショップは、学びと環境教育指導者となる活動

SOEからのご案内

講演と映画の会 7月19日(土)13時~16時半 (グリーンホール 601)

講演「持続可能エネルギーへ市民参加の時が来た。」 講師 飯田哲也氏

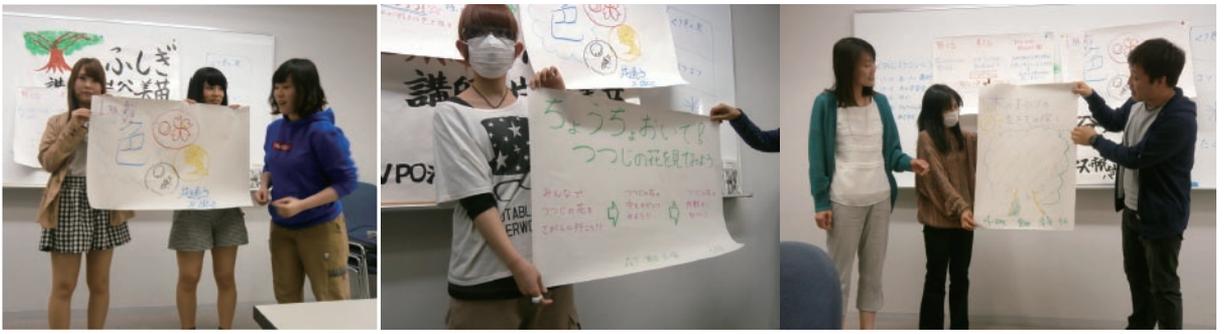
映画「第四の革命—エネルギー・デモクラシー」 83分 監督カール・A・フエヒナー

ドイツの脱原発はなぜ実現したのか。2010年ドイツで最も観られ、世界10カ国の導入事例を紹介。

お申込みは➔ 電話・FAX: 03-3960-6052 Mail: info@npo-soe.jp

センスオブアース10周年を祝う会 5月24日(土)17時半~

会場: レストランまき 会費: 一般4,500円 学生4,000円 振込先: 〒00150-7-552437



をセットしたアクティブな行動的学習会。はじめに2時間、身近な前野公園の樹木の観察と解説を受け、その後、エコポリスセンターにもどり、みんなで気づきを分かち合い、グループで子どもたちへ木の魅力を伝えるモチーフを浮き上がらせ、発表しました。



《参加者の感想》

自身を支えようと成長する状況に合わせて栄養配分を変えるなど植物も人間と同様に生きていくために懸命に働く生きものなのだ…。(I・A)

木って臨機応変。栄養がまだまだ必要だから、下の方から葉っぱが生えて来たり、バランスを保つために太くなったり、不要なところは腐っていつたり、また切られると思って育たなくなったり、木って生きているんだなあ。(S・M)

プログラム案の発表では、具体的でおもしろそうなものが出来てワクワクした。何か実現できるかもしれないと考えると楽しみ。(M・R)

実際に体験をしたことをもとにプログラムをつくる事を考えるのは、感じたこと、考えたことがすごくわかって伝えたい事が出てきやすいな。(M・N)

岩谷先生の教えは素晴らしいものばかり。プログラム作りも、自分の感動を伝えたいという気持ちが強くなり、土日親子で参加できるようなプログラムを作りたい。(Y・M)

何か童心に帰るような心地を覚え心弾んだ。心から楽しんで学習できた。(M・R)

たくさんの気づきがあり、「気付いてしまったら、無視できない。」と思った。(T・A)

街の中の公園で木の様々な生活戦略を知る事が出来、木もがんばって生きているという視点で木をながめ、木にやさしい生活をしていきたい。(F・Y)

木の学習を通して、生きるという事の意味を学べるということが体験的に分かった。(M・T)



キングョツバキ、葉の先が割れ金魚の形→



←つつじの蜜腺でチョウを呼び

「いもむしのたからぶくろ」

こぶし保育園 4/24 4・5歳児・27人 於 城北公園



「いもむし自然探検隊、エイエイオー」と元気よく、2人組を作ってビンゴカード片手に出発です。4歳児でも、友だちとよく力を合わせて、虫や葉、花の匂い、風の音、鳥の鳴き声など、真剣に探して歩きました。

☆タンポポがいい匂いがする（みなさん知っていましたか？）☆木の実を見つけた。☆ダンゴムシを見つけた。☆いい匂いの花を見つけた。☆チョウチョを見つけた。



☆鳥の声を聞いた。（全員で静かにして、シジュウガラをたっぴり聴きました。）☆クモ、あり、あおむしを見つけた。☆セミの抜け殻を見つけた。☆葉っぱ、ダンゴムシ、木の枝を見つけた。☆風の音 ☆木の実、いいにおいを見つけた。☆鳥の羽、ハトがいた。



《みんなの間奏》

- ④ 生きものが楽しかった。
- ④ たからさがしとキロリのオニゴッコがよかった。
- ④ 風の音がよかった。
- ④ チョウを見つけて良かった。
- ④ 鳥の声がいい声だった。

発見を発表すると病気のアオスジアゲハへ送る袋が膨らむ

《先生方の気付き》

5歳担任『鶴見早苗先生』 今回の「視覚以外の感覚で自然を感じる」は、とても興味を持ち参加しました。最初の集団遊びの「キロリのオニゴッコ」では、木に力がありパワーをみんなに与えてくれるというのは素敵なお話だと思った。また、紙芝居で子どもたちにわかりやすく伝わり、それをたからさがしの導入にしたので、子どもたちも自然に「自然」に入り込めた。子どもたちも「またやりたい。」の声が多く聞こえたので、またやってみたい。保育士・子どもたち共により体験ができた。

4歳担任『川合博先生』 とても楽しみながら虫や花を探し自分たちで見つけようとがんばっていた。同年齢の子同士でも、最後まで取り組み続けることができた。次の日「またしたい!」と言う子が多く、家庭でも話した子が多かったので、とてもよかった。他の公園でも行い自然に対して意識が高まるように続けられればと思う。ちがう季節の「自然と遊ぼう。」を楽しみにしています。

2014 ☀ アースデイ

今年も神宮の森に出店

4/19・20

世界に広がるアースデイに参加

今年も森の色合わせプログラムを行いました。好きな色を4色ほど選んでもらい、それをカードに貼って、自然界の中へ探しに行ってお合ったものをカードに書いて来ます。

お父さんと来た6歳の女の子は、一度探しに



この看板に気付きを貼っていきます

行ったのが楽しくて、「もう一度やりた〜い。」と広い神宮の森の中へ探しに出かけました。「この色、タンポポの色だと思う。」そういえば、辺り一面に日本タンポポが広がっています。貴重な在来種が、大都会の真ん中の神宮に「保護されている」のでした。様々なグループが静かな活動を展開しています。心癒されるひとときを過ごせます。ぜひ、来年、足を延ばしてみてください。



貴重な生態系を守る森—日本タンポポの群生

私の好きな色を貼りつけて



参加された方々の森の色の気付き

④桜のがくの色 ④空の色 ④ドングリの殻斗の色 ④タンポポいっぱい ④葉っぱのまわりの色 ④タンポポの花を支えているがくの色 ④月桃の花の色 ④小さい紫の花がとても可愛かった ④おもしろい形のうす茶の花 ④すみれ ④小さい紫の花がとても可愛い



巨大な竜を作って練り歩く人たち



アースデイの仲間で出会えた



竹をのこぎりで切る幼児

発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6052
e-mail: info@npo-soe.jp url: npo-soe.jp